

## さらなる企業価値の創造を目指して

### 2006年3月期決算説明

### 及び

### 事業戦略説明会



Sodick は、あらゆる分野で「ものづくり」をサポートしています

2006年6月20日 10:00 ~  
東京証券会館

株式会社ソディック  
代表取締役社長 塩田 成夫

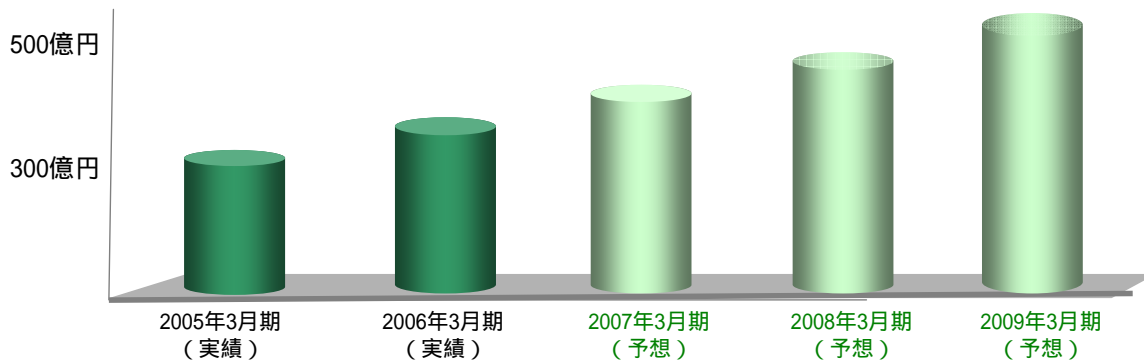
- 1976年 8月 株式会社ソディックを横浜市緑区に資本金2,000万円で設立
- 1976年 12月 マイクロ・コンピュータ付きNC形彫り放電加工機1号機を納入
- 1980年 6月 生産主力拠点の福井事業所が完成（福井県坂井市坂井町）
- 1981年 1月 16ビット・マイコン内蔵形の放電加工機用電源「8133」開発
- 1986年 2月 東京証券取引所・市場第二部へ株式を上場
- 1987年 3月 加賀事業所竣工
- 1987年 12月 加賀事業所内にセラミックス事業棟が完成
- 1988年 11月 生産拠点としてSodick (Thailand) Co., Ltd. を設立
- 1989年 11月 加賀事業所内に射出成形機工場が完成  
（現在の株式会社ソディックプラスチック）
- 1991年 4月 ジャパックス株式会社に資本参加
- 1991年 5月 上海沙迪克軟件有限公司を設立
- 1993年 4月 ニューロ・ファジィ理論に基づく数値制御装置「NFシリーズ」開発
- 1993年 5月 オールセラミックス製高精度ワイヤ放電加工機「EXC100」開発
- 1994年 4月 放電CAMシステム「DiPro20」開発
- 1994年 12月 中国蘇州市に蘇州市に蘇州沙迪克特種設備有限公司を設立
- 1998年 11月 リニアサーボモータ搭載高速彫り放電加工機「AQ3SL」開発
- 1999年 4月 3輪リニアモータ搭載彫り放電加工機「AQシリーズ」開発
- 1999年 10月 リニアモータを搭載した高精度ワイヤ放電加工機「AQ32SL/AQ550L」開発
- 2001年 8月 株式会社ソディックプラスチックがジャスダック市場に上場
- 2001年 12月 世界最高水準のナノ加工機「NANO-100」開発
- 2002年 4月 3次元ソリッドモデル融合型NC「LQシリーズ電源」開発
- 2002年 8月 超精密リニアマシニングセンター「MC430L」開発
- 2003年 8月 中国市場向け戦略機種「AQ360L/AQ560L」開発
- 2003年 9月 電子ビームPIKA面加工機装置「EBM」開発
- 2005年 1月 リニアモータ駆動機累計10,000台出荷（世界最速）
- 2005年 9月 超精密微細高精度ナノ加工機「Ultra NANO100」開発  
高精度ナノ放電加工機「AE05」開発  
ナノマシニングセンター「AZ150」開発
- 2005年 11月 株式会社ソディックハイテックが大証証券取引所「ヘラクレス」に上場
- 2006年 6月 公募増資実施（600万株）。資本金が20,574,739,258円となる。  
廈門（中国）に現地法人を設立し、新工場建設を発表

### CONTENTS

経営目標/経営戦略	…P2
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営目標</li> <li>・ 新工場建設について</li> <li>・ 資本増強について</li> </ul>	
2006年3月期業績ハイライト	…P8
2007年3月期業績予想	…P11

経営目標 ~ 放電加工機で真のグローバルNo.1企業へ ~

## 放電加工機 販売 500億円 世界シェア 30%超



	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期
放電加工機販売台数	2,791	3,208	3,700	4,150	4,850
当社推定世界シェア	22%	26%	28%	29%	32%

⊗ NANO & SOLUTION

## ソディックがグローバルNo.1になるための課題

### 世界各地のマーケット状況の的確な把握

その市場にあった製品群の投入  
地域経済の動向に左右されにくい製品構成

### 生産キャパシティの問題

タイ工場・蘇州工場・国内工場の生産能力の限界

### 新市場への対応

東南アジア・中国、東欧の新市場

### 原価低減

原価管理の厳格化、固定費用の削減

### グループ経営体制の強化

事業シナジーの拡充、リスク管理を含む内部統制の確立

⊗ NANO & SOLUTION

## 中国 福建省 廈門市 に新工場建設

### 【 廈門工場 完成予想図 】



NANO & SOLUTION

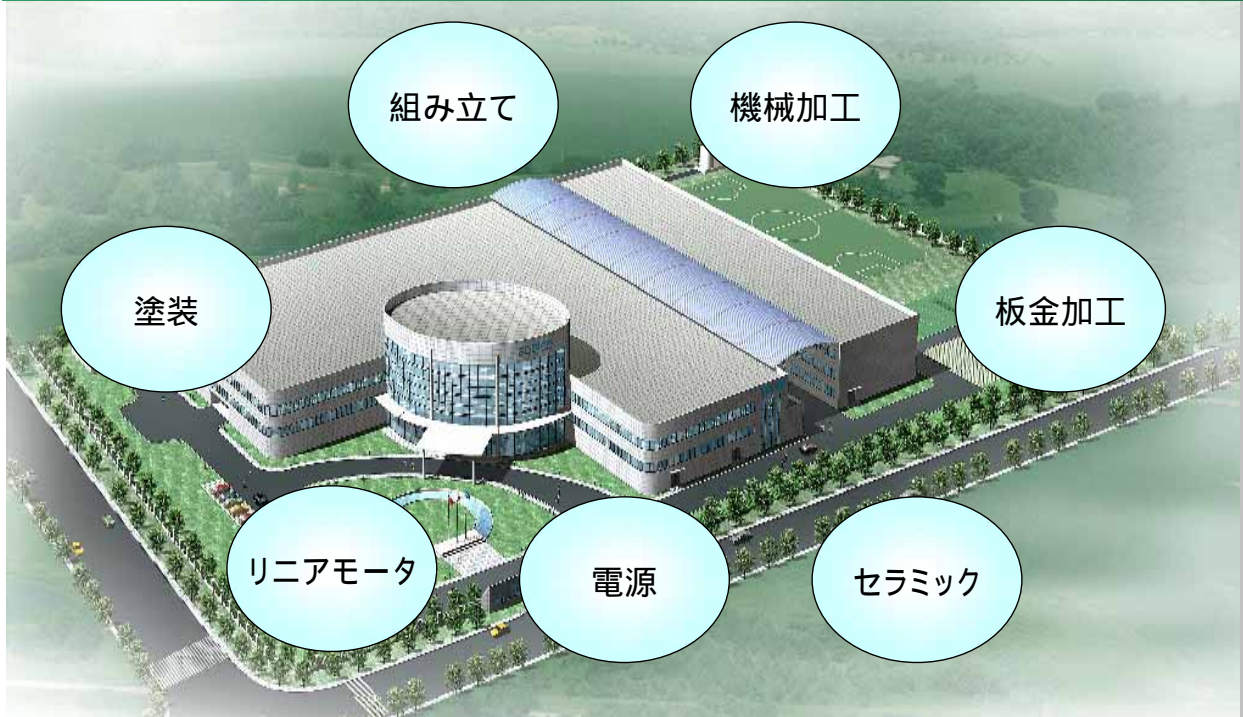
## 中国 福建省 廈門市 に工場建設を決定

### ソディック アモイ 【沙迪克（廈門）有限公司 工場概要】

資本金	43万US\$ (予定) (株)ソディック100%出資
所在地	中国 福建省 廈門市 海滄投資区 新陽西部工業区1号地
董事長	市川 剛志 (株式会社ソディック 取締役)
敷地面積	58,000㎡
工場延床面積	46,500㎡
建設着工予定時期	2006年9月
操業開始予定時期	2007年7月
設備投資予定額	3,000万US\$ (3年間総額)
予定従業員数	360名 (操業開始時)

NANO & SOLUTION

【 厦門工場 総合生産体制 】



NANO & SOLUTION

さらなる価値創造に向けて

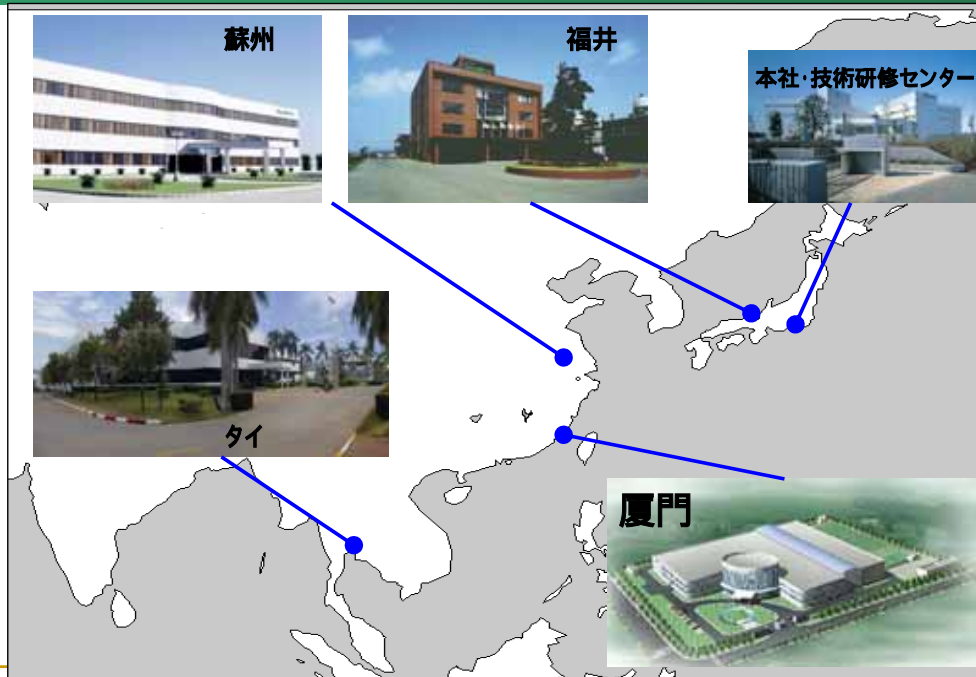
新たな市場開拓

放電加工機 世界シェアNo.1

NANO & SOLUTION

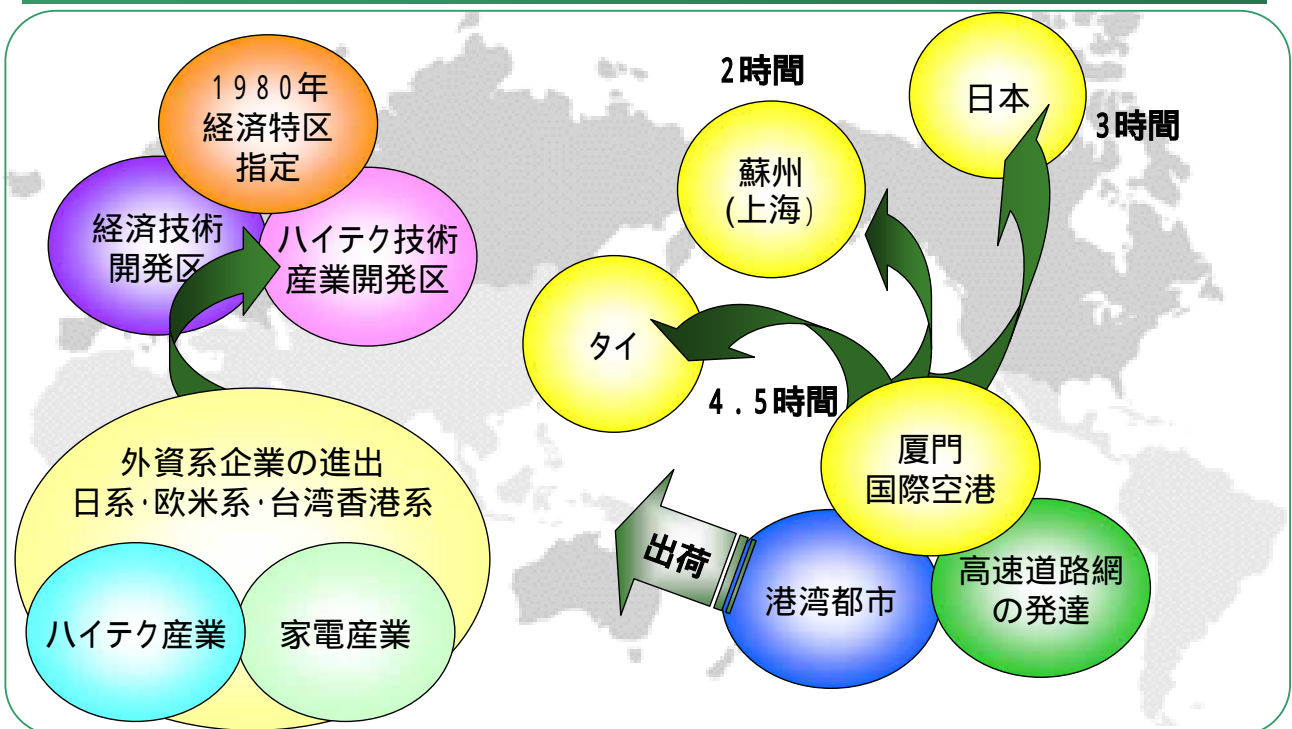
## 4 工場体制での生産に向けて

ソディック グループ 生産拠点



NANO & SOLUTION

## 廈門市の地域環境と概要



NANO & SOLUTION

放電加工機シェア 世界No.1 へ向けて

ソディック グループ 目標

放電加工機 総生産規模

3年後 5,500台

3年後  
1,500台

2年後  
1,000台

1年後  
500台

厦門工場

NANO & SOLUTION

資本増強の目的

● 本社ビル増築

連結子会社のマネジメント集中によるグループ経営の効率化(連結経営・管理面の効果)  
ナノ加工技術開発設備の設置(研究開発・新市場創出の効果)  
総合研究棟及び大型ショールーム(研修施設)の付設(研究開発の強化、事業シナジー、営業面での効果)

● 新たな研究開発投資

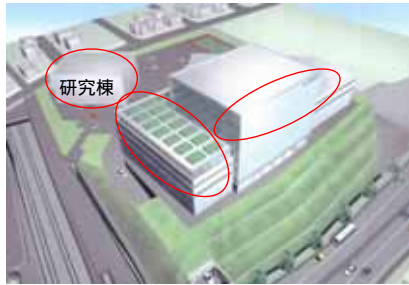
ナノレベルの加工精度を持つ商品群の開発及びそれに必要な要素技術  
(ソフトウェア及びハードウェア)の開発  
世界シェアNo.1となるための戦略機種の開発  
「ものづくり」の三次元(3D)化促進のための第2世代のQ3vic Solutionの展開  
電子ビーム加工機及びその他新分野への展開 等々

● 借入金の返済

支払金利負担の軽減  
財務体質の改善(自己資本比率、一株あたり株主資本の大幅改善)

## 資本増強の目的

### ● 本社ビル増築計画の概要



所在地 神奈川県横浜市都筑区仲町台3-12-1  
(現在の本社敷地内)

延べ床面積 18,099㎡ (増築分10,753㎡ 研究棟含む)

完成予定 2008年 6月

投資予定額 約30億円

#### 目的

連結子会社のマネジメント集中によるグループ経営の効率化  
グループ会社の本社社屋への集結によるガバナンスの強化・連結  
決算の早期化・賃貸料の削減等の連結経営の合理化が図られます。

#### ナノ加工技術開発設備の付設

耐振動性・恒温性を持つ新研究開発設備を地下に付設し、ナノレベルの加工精度を持つ装置のシリーズ化及び加工技術の開発を行い、本格的な普及を図ります。

#### 総合研究棟及び大型ショールーム(研修施設)の付設

研究棟を新設することにより、最新のコアテクノロジーの技術開発の強化を行います。また、グループ全社の製品を集めた大型ショールーム及び研修施設を付設することにより、顧客の利便性の向上や、グループ会社間での事業シナジーによってより幅広い提案を行うことが可能となります。



## 資本増強の目的

### ● 新たな研究開発投資

ナノレベルの加工精度を持つ商品群の開発及び  
要素技術(ソフトウェア及びハードウェア)の開発



ナノマシン  
UltraNANO100



ナノMC  
AZ150



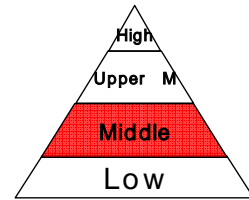
ナノ放電  
AE05

ナノワイヤ放電加工機の開発など

グローバルシェアNo.1となるための戦略機種  
(ミドルクラス機種)の開発



中国市場向け戦略機種  
AQ360L



電子ビームPIKA面加工機の及び  
自社製NC装置その他新分野への  
展開 等々



電子ビームPIKA面加工機の本格的な普及に向けた製品開発及びその他新製品・新分野への展開

「ものづくり」の三次元(3D)  
化促進のための第2世代の  
Q3vic Solutionの展開



06年5月31日発表の  
Intelligent Q3vic(インテリ  
ジェント・キュービック)の  
EDM、MCへの適応など

## 2006年3月期業績ハイライト

⊗ NANO & SOLUTION

### 2006年3月期(2005年4月～2006年3月)のポイント

- 国内は自動車部品が牽引。下期からハイテク関連の引き合いも好調に推移。北・南米は医療や航空宇宙中心に需要が拡大。欧州は下期以降、ドイツの回復により大幅売上増も引当金の計上で黒転には至らず。アジアは中国が大きく伸張。韓国も台数ベースで前年度比70%増加。
- 上期において、新製品の投入による生産工数の上昇等、下期は05/09末と06/03末を比較してタバーツが約10%高騰したことにより、P L上の原価が上昇(売上原価率2.5%上昇)。しかし、タバーツの為替変動等により15.6億円の為替差益が発生したため、経常利益は19.8%の増加。

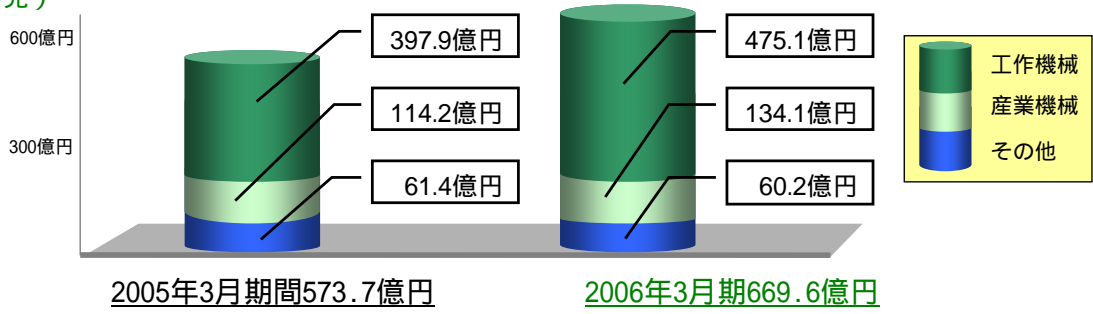
単位: 億円	2005年3月期	2006年3月期	前期比
売上高	573.7	669.6	+16.7%
(売上原価率)	65.6%	68.1%	+2.5%
営業利益	68.1	70.2	+3.0%
経常利益	70.3	84.2	+19.8%
純利益	52.3	61.1	+16.9%

⊗ NANO & SOLUTION

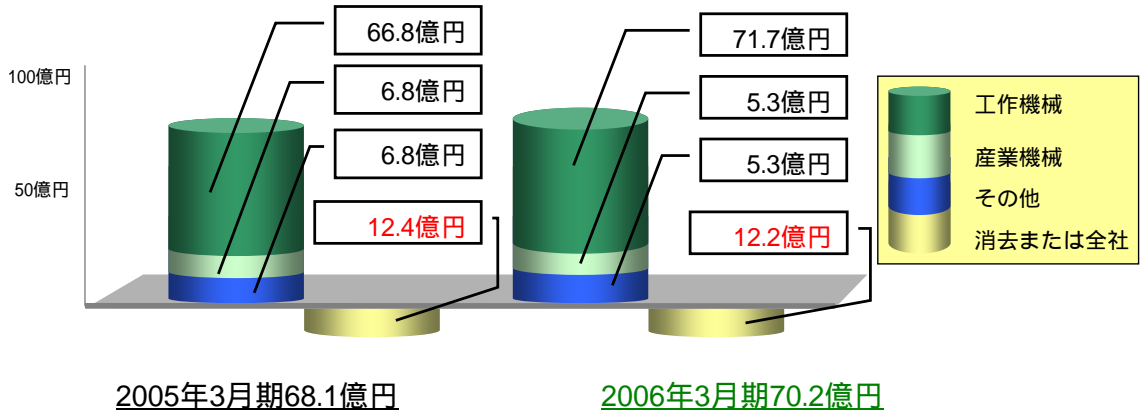


## 過去2年の売上高・営業利益(事業別)推移

### 売上高(外売)

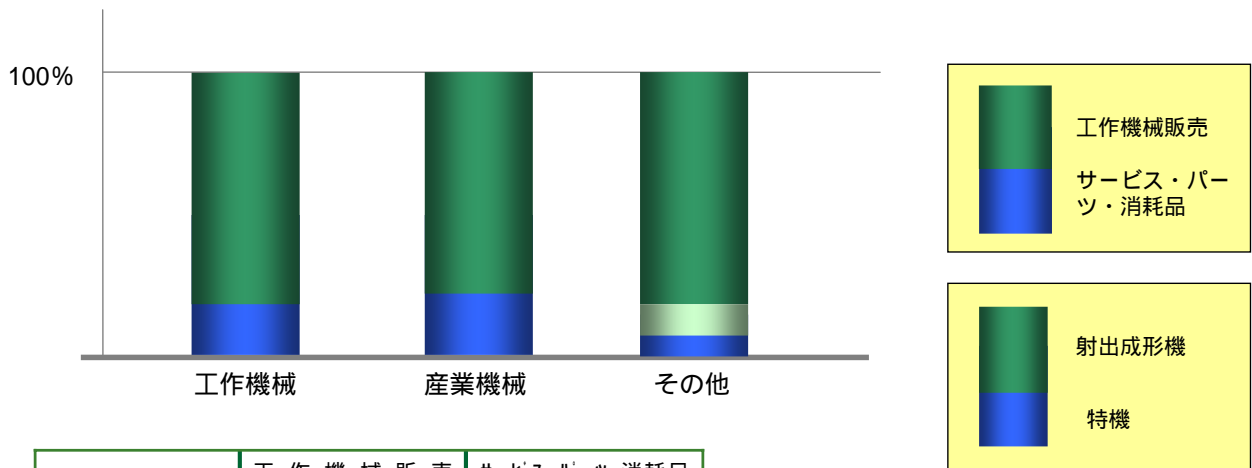


### 営業利益



NANO & SOLUTION

## 事業別セグメント内訳



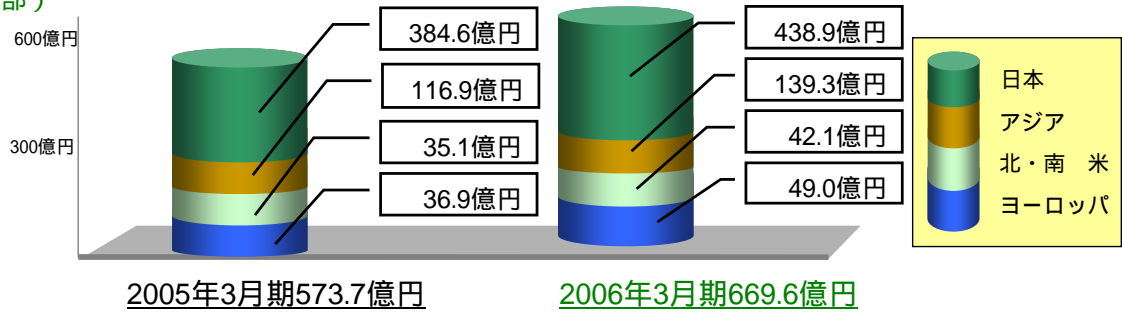
	工作機械販売		サービス・パーツ・消耗品			
工作機械	40,130	84%	7,388	16%		
	射出成形機販売		特機事業			
産業機械	10,170	76%	3,249	24%		
	精密金型・成形品		セラミックス外販		ソフトウェア	
その他	5,096	85%	561	9%	364	6%

単位：百万円

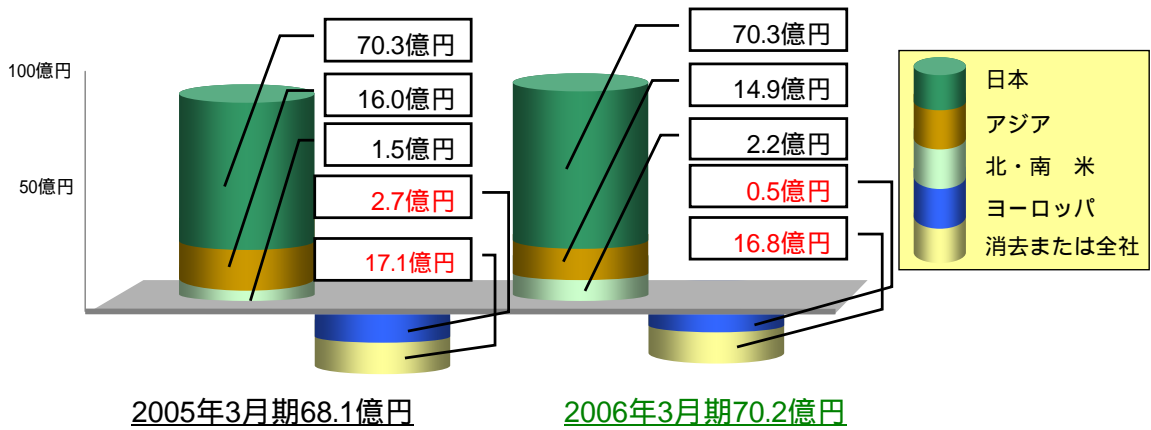
NANO & SOLUTION

過去2年の売上高・営業利益(所在地別)推移

売上高(外部)

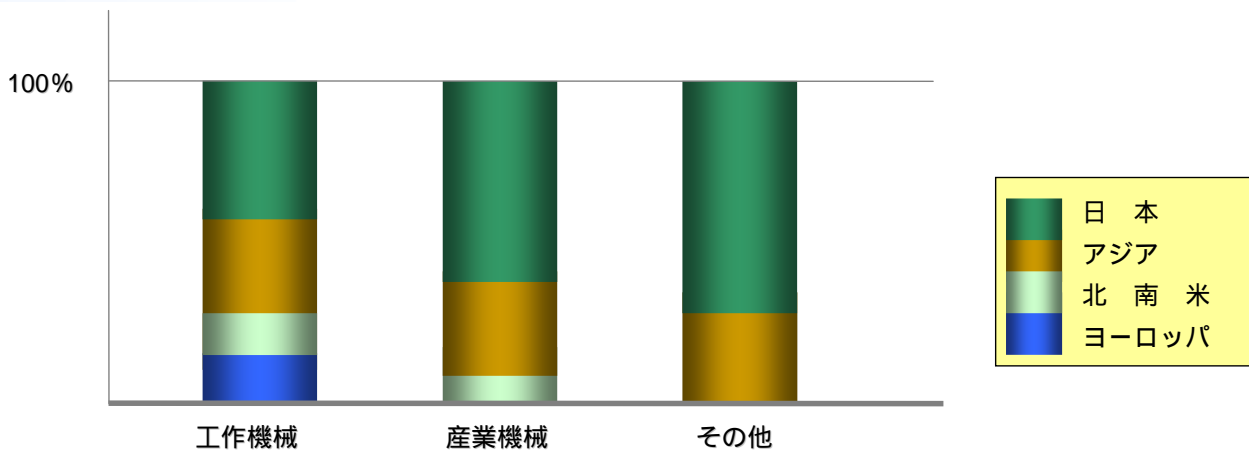


営業利益



NANO & SOLUTION

事業別海外売上比率



単位：億円

	日本		アジア		北南米		ヨーロッパ	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
工作機械	194.8	41.0	183.1	38.5	43.7	9.2	53.6	11.3
産業機械	85.1	63.4	44.7	33.3	4.4	3.3	0	0
その他	42.8	71.7	16.9	28.3	0.0	0.0	0	0
合計	322.8	48.2	244.8	36.6	48.1	7.2	53.6	8.0

NANO & SOLUTION

## 2007年3月期業績予想

⊗ NANO & SOLUTION

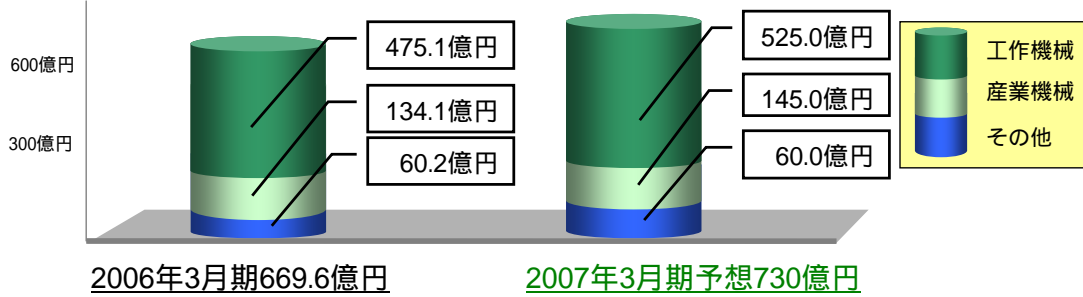
## 通期業績予想

- ハイテク関連機器部品向けが回復基調。自動車部品向けも好調持続で下期に更に伸張すると予想。工作機械事業は、日本・中国でそれぞれ20億円増加、北・南米、欧州、アジアでそれぞれ5億円ずつ増加させる。産業機械は10億円、その他で5億円の売上増を見込む。
- 2007年3月期より、ソディック本体が納税ポジションになり、納税負担が約14億円増加することにより、純利益は16.7%減の51億円を見込む。
- 想定為替期中平均レート  
1米ドル = 109円   1ユーロ = 140円   1バーツ = 2.85円

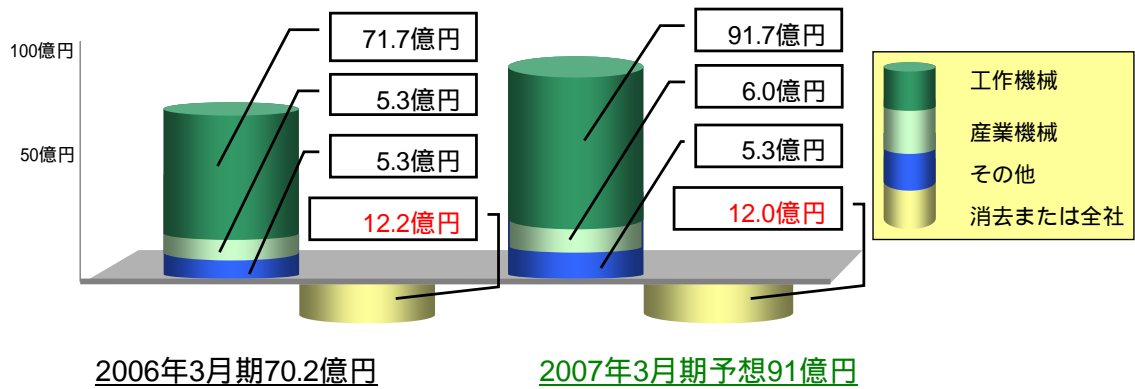
単位:億円	2006年3月期	2007年3月期予想	前期比
売上高	669.6	730	+9.0%
営業利益	70.2	91	+29.6%
経常利益	84.2	84	-0.3%
純利益	61.1	51	-16.7%

売上高・営業利益(事業別) 予想

売上高(外部)

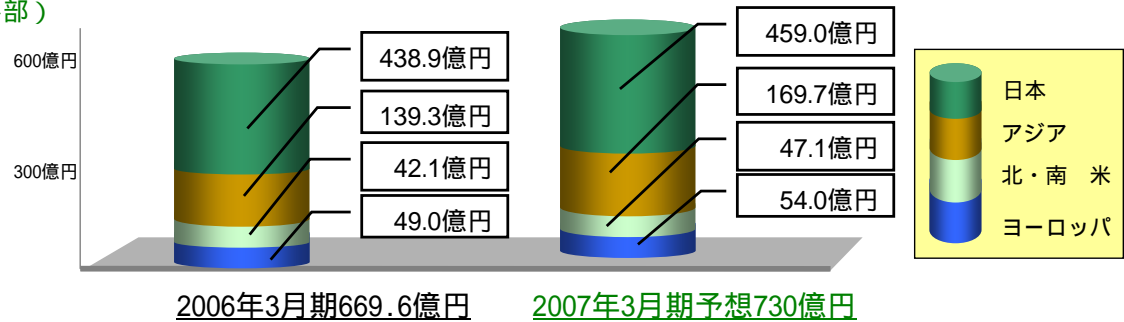


営業利益

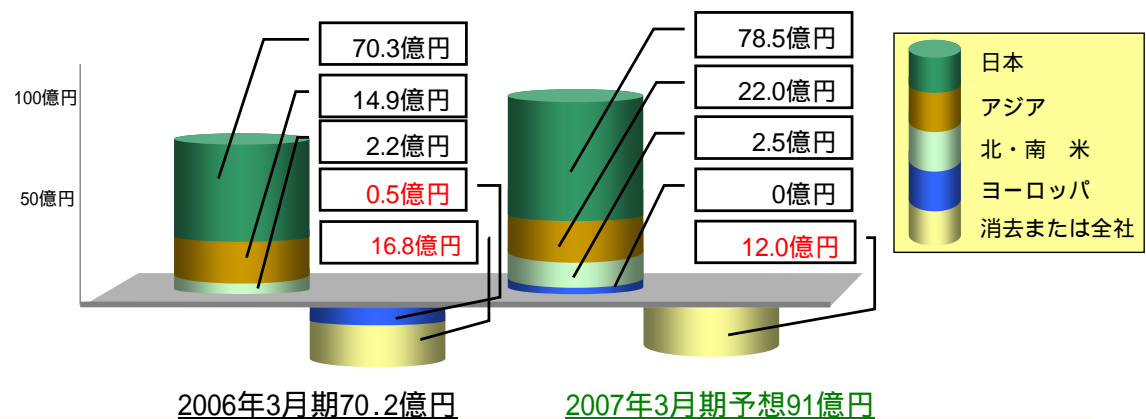


売上高・営業利益(所在地別) 予想

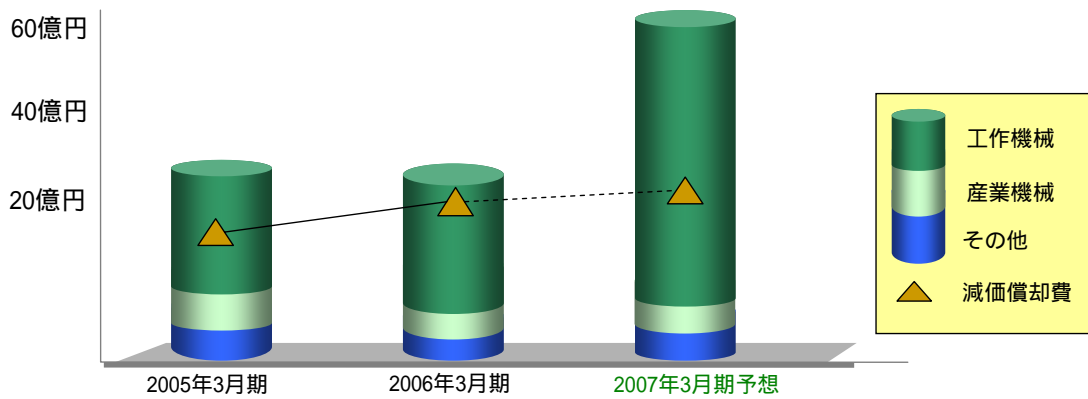
売上高(外部)



営業利益



「増産や内製化の推進のための設備」及び「Nano加工関連」に積極的に投資

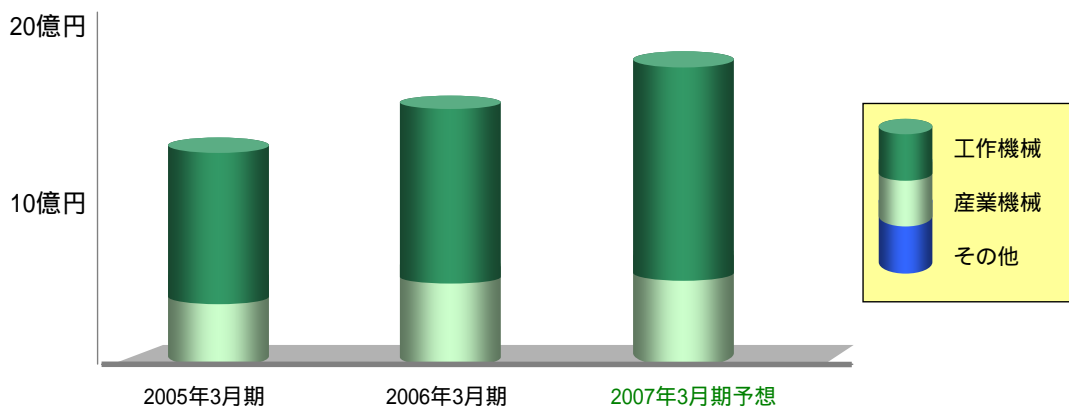


単位：億円

	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期予想
工 作 機 械	20.7	20.5	53.5
産 業 機 械	5.8	4.0	4.0
そ の 他	5.4	2.5	2.5
設 備 投 資 合 計	31.4	27.0	60.0
減 価 償 却 費	18.9	19.8	22.0

NANO & SOLUTION

「次世代NC」・「モーションコントローラ」・「最先端Nano技術」の開発に注力



単位：億円

	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期予想
工 作 機 械	12.4	14.2	15.9
産 業 機 械	3.7	4.2	4.0
そ の 他	0.0	0.9	0.2
研 究 開 発 費 合 計	16.2	18.5	20.0

NANO & SOLUTION

# 御清聴いただきありがとうございます



本資料に記載された意見や予測につきましては、資料作成時点での弊社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。